

## 記者発表資料

提供年月日：令和元年(2019年)5月20日  
部 局 名：文化スポーツ部  
所 属 名：文化芸術振興課  
係 名：振興係  
担 当 者 名：安部  
連絡先(内線)：077-528-3340 (3340)



(公財)びわ湖芸術文化財団(びわ湖ホール)  
担 当 者 名：広報担当〔岡本〕  
連 絡 先：077-523-7140  
担 当 者 名：事業担当〔古川〕  
連 絡 先：077-523-7150

### 「びわ湖ホール 音楽会へ出かけよう！」ホールの子事業の開催について ～参加の子どもたち 初の1万人超え～

「びわ湖ホール 音楽会へ出かけよう！」ホールの子事業を、5月28日(火)～31日(金)、6月3日(月)、4日(火)に開催します。6日間の会期中、どの公演でもご取材いただけますので、ぜひとも各媒体で広くお取り上げくださいますようお願いいたします。

## 1 ホールの子事業について

本事業は、滋賀県の舞台芸術の拠点であるびわ湖ホールに県内小学生等を招き、子どもたちが舞台芸術に直接触れる機会を提供することにより、舞台芸術への関心を高め、豊かな心や感受性をはぐくむことを目指して、平成23年度から開催しています。

9年目となる本年度は、6日間12公演で137校、10,000人を超える児童等が参加する予定です。指揮者には、海外よりステファン・ブルニエ氏を迎え、京都市交響楽団とびわ湖ホール声楽アンサンブルによる本格的な舞台芸術公演をお贈りします。

## 2 公演概要

### 開催日時・会場

日時：2019年5月28日(火)～5月31日(金)、6月3日(月)、4日(火)

各日とも ①10時30分～11時30分、②14時00分～15時00分の2回公演

会場：滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 大ホール

対象：県内小学校、特別支援学校 等



## 出演者等

指揮：ステファン・ブルニエ

管弦楽：京都市交響楽団

司会：熊谷綾乃、五島真澄\*(5/28,30,6/4)、黒田恵美\* 竹内直紀\*(5/29,31,6/3)

独唱・合唱：びわ湖ホール声楽アンサンブル

脚本・構成：中村敬一

主催：滋賀県、公益財団法人びわ湖芸術文化財団 / 共催：滋賀県教育委員会

\*びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー

## プログラム(1 時間・全8曲)

1. チャイコフスキー：バレエ組曲『くるみ割り人形』より“行進曲”  
—楽器紹介—
2. ヘンデル：「水上の音楽」より“アラ・ホーンパイプ”
3. グリーク：「ペールギュント組曲」より“朝”
4. グリーク：「ペールギュント組曲」より“山の魔王の宮殿にて”  
—声紹介—
5. ヴェルディ：歌劇『リゴレット』より“女心の歌”
6. ヴェルディ：歌劇『イル・トロヴァトーレ』より“アンヴィル・コーラス”
7. みんなで歌おう 翼をください
8. エルガー：威風堂々第1番



### ■びわ湖ホール声楽アンサンブルについて

全国から厳しいオーディションを経て選ばれた声楽家により構成される日本初の公共ホール専属声楽家集団。ソリストとしての実力は言うまでもなく、アンサンブル、合唱の中核となり得る優れた声楽アンサンブルとしても各方面から注目を集めている。

びわ湖ホール独自の創造活動の核としてびわ湖ホール開館の1998年3月に設立して以降、びわ湖ホール自主公演への出演を主な活動とし、オペラ公演や定期公演を行うほか、依頼を受けて全国各地でも多数の公演を行っている。また滋賀県内の学校を対象とした公演を行うなど、音楽の普及活動にも積極的に取り組んでいる。2013年度第26回大津市文化賞、2017年度第42回滋賀県文化賞を受賞。

### ■京都市交響楽団(管弦楽)について

日本唯一の自治体直営オーケストラとして1956年に創立。楽器講習会や音楽鑑賞教室、福祉施設への訪問演奏等にも積極的に取り組み、2015年「第46回サントリー音楽賞」受賞。同年6月ヨーロッパ公演で成功を収め、2016年は創立60周年を祝う国内ツアーを開催。2017年4月からは常任指揮者兼ミュージック・アドバイザー・広上淳一、常任首席客演指揮者・高関健&下野竜也による3人指揮者体制を確立し、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」としてさらなる前進をはかっている。

## 【公演のポイント】

### ●6日間12公演で10,000人を超える子どもたちが参加予定

国立や私立を含む滋賀県内全ての小学校および特別支援学校等を対象に平成23年度より始まった本事業ですが、今年初めて参加予定児童数が10,000人を超えます。

本公演では、芸術鑑賞に加え、子どもたちがオーケストラと一緒に歌い公演に参加するコーナーを設け、びわ湖ホールで一体感を味わうことができる事業となるように“ホールの子事業”と名付けました。このホールの子事業を通して、本格的な演奏を「音楽」として身近に味わい、将来を担う子どもたちの豊かな感性や人間性を育むことをねらいとしています。さらに、子どもの頃から舞台芸術の楽しさや素晴らしさに触れ、舞台芸術への理解を深めることにより、将来の舞台芸術の支援者の創造につなげ、滋賀県の「文化力」の向上を図ります。

### ●びわ湖ホールでしか味わえない「音楽会」

世界の第一線で活躍している一流の指揮者を迎え、日本唯一の公共ホール専属声楽家集団である「びわ湖ホール声楽アンサンブル」と関西を代表するオーケストラである「京都市交響楽団」との共演により、一流の演奏をお届けします。

通常の学校公演ではめったにお目にかかれない、大編成のオーケストラを、日本有数の音響効果を誇るびわ湖ホール大ホールで堪能していただける、びわ湖ホールでしか味わえない「音楽会」です。

### ●子どもたちを惹き付ける内容

音楽会では、びわ湖ホール開館当初より「青少年オペラ劇場」「びわ湖ホール オペラへの招待」シリーズ、「びわ湖ホール ジルヴェスターコンサート」等、数々の自主公演に携わる演出家中村敬一氏が構成・脚本をつとめ、「世界を巡る音楽の旅」というテーマのもと、2名の司会者によるテンポの良い進行で、子どもたちにも聴き馴染みのあるオーケストラの名曲を紹介します。客席からは見えにくい楽器や奏者の姿を投影する大きなスクリーン、びわ湖放送の人気キャラクター“知ったかぶりカイツブリ”を配した進行など、好奇心をかき立てる内容です。当日は、聴くだけでなく子どもたちがオーケストラと一緒に歌い、公演に参加するコーナーもあります。

また、事前にイラスト入りの楽曲・楽器の紹介を掲載した学習用資料等を配布し、学校の授業で取り組んでいただくなど、学校と連携して、子どもたちの舞台芸術へのより深い理解を導きます。